

山武市総合計画審議会 会議録

会議の名称	第1回山武市総合計画審議会	
開催日時	平成18年11月6日(月)	午前10時30分 開会 午後 0時10分 閉会
開催場所	山武市役所 3階 第4会議室	
議長氏名	秋庭 武行	
出席者氏名	別添出欠者名簿のとおり	
欠席者氏名	なし	
事務局氏名	総務部長 小川 利一 企画政策課長 石田 徳男 企画係長 小川 雅弘 企画係 副主査 越川 正	
会議事項	<p>議題</p> <p>(1) 会長・副会長の選出について</p> <p>(2) 総合計画審議会運営要綱について</p> <p>(3) 総合計画策定方針(案)について</p> <p>(4) 総合計画策定スケジュール(案)について</p> <p>(5) その他</p>	<p>会議結果</p> <p>(1) 会長 秋庭 武行 副会長 行木 信一</p> <p>(2) 原案により決定</p> <p>(3) 原案により決定</p> <p>(4) 原案により決定</p>
会議の経過	別添会議経過のとおり	
会議資料	「次第」「山武市総合計画審議会条例」「山武市総合計画審議会運営要綱(案)」「山武市総合計画策定基本方針(案)」	
その他必要事項	署名委員の指名 朝日委員 岩澤委員	
会議録の確定		
確定年月日	署名委員	
平成19年1月26日	朝日 典男	
	岩澤 静	

(会議経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
	<p>1 . 開会 (進行 総務部長 小川 利一) 各委員と職員の自己紹介を行った。</p> <p>2 . 委嘱状の交付 机上配付により交付とした。</p> <p>3 . 市長あいさつ (椎名市長)</p> <p>お忙しい中をお集まりいただきましてありがとうございます。また、この度の総合計画審議会委員をお受けいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。この総合計画審議会の持つ役割について少しお話をしたいと思います。</p> <p>今、新しい山武市が誕生いたしまして半年が経ちました。合併を推進する時にいろいろと考えてと申しますか、将来の問題も想定して、建設計画、その他もお作りいただいて、現在に至っております。特に組織の面では、総合支所方式を採用し、住民へのサービスレベルを落とさないようにとスタートさせていただきました。ところが考えているのと実際に動かすのでは大分違いがあるということで、最近の行政を取り巻く環境の変化に中々ついていけないという、新しい体制を組んでいくのに総合支所方式では不都合が生じてきた、たった半年でこれだけの行政に変化が生じてます。組織といたしましては、来年4月から総合支所方式を一旦見切りをつけて、本庁方式へ移していくという方向で調整を図っています。ただし、本庁方式と言いましても全てを一ヶ所に集めるだけの建物がありませんので、分庁方式というのが適当かと思いますが、そのような形で進めて参りたいと考えております。</p> <p>今回ご審議いただく総合計画でございますが、これからの10年の基本構想を考えていただくわけですが、私が基本的なところで職員に指示申し上げたのは、まず、従来の総合計画、基本構想というものが、ややもすると将来の夢を提示しようとするような将来を描こうかということで、実現性という面で、どう言ったらいいでしょう、かなり疑わしいながらも夢のなる将来像を住民の皆様提案しようと、そんな計画であったよう</p>

です。新しい山武市のスタートする現状というのは、自己責任において、自分たちの住んでいく地域を作っていかなければならないという時代が来ているということをふまえて作っていかなければならない。いわゆる建前論で終わってしまっただけではないのだということを申し上げております。したがって計画そのものも実現性の高いものを作っていかなければならない。日本の考え方ですと本音と建前という二重の構造みたいなものがありますけども、その本音と建前を近づけていこうと申しておりますが、この構想におきましても建前論ではなくて、実現可能な将来図を描いていきたいと、こんなふうに考えております。そうなりますと、コンサルに頼んでスタートいたしますとモデルを、他の類似的なところのモデルを先進事例というものを持ってきて、それをスタートに置いて調整を図っていくというような感じをどうしても私は持っています。

そういうことではなく、自分たちの地域に現実からスタートしようではないかと、最初からコンサルを使わないというところからスタートしようと、多分、かなり頭をひねっているだろうと思います。手間ひまはかかりますが、そういった形でスタートいたしました。そして、従来、審議会というものは、計画ができあがった段階、中間報告はさせていただきますが、素案、ほとんど、計画を固めた段階で皆様方に諮問を申し上げて答申をいただくという形でやってきたと思うんですけど、やはり、市民との協働ということを訴えておりますので、できるだけ早い段階から幅広い意見をいただきたいというふうに考えております。そういった意味で、組織の面でもワーキングチームを中に入れているという工夫をさせていただきたいと思います。

それから、もうひとつ基本的な考え方ではありますが、今回のこの基本構想、それから行政改革、こういったものが将来、自立ということを前提にいたしますと、いろいろなところで痛みを伴うことがあるというふうに思います。

総花的に受け入れやすいものということではなく、非常に痛みを伴うものであっても理解をいただこうと考えています。それは、私の基本的な考え方ですけども、4つの町村が合併いたしました、この4つの町村の合併というものが果たしてよかったのか悪かったのかということが、将来問われます。既に国では2次合併を考えておりますし、今年中には県の方でも2次合

	<p>併の枠組みが提示されるように考えられております。</p> <p>今の段階では、山武市は、4つの合併を選んだわけですから、この山武市をやはり、ひとつのしっかりした自治体として成立させていきたいと、そのように考えております。それは何故かと言いますと、もしもこのまま進んでいって何年か先に山武市が自立できない市として終わってしまっ、どこか2次合併に飲み込まれていくということになりますと、この何年かはある意味では失われた年になっていくというふうに思います。4町村で合併したことが間違っていたということに結論としてなるうかと、ですから4つの町村が合併してスタートした山武市に存在の意味があるということは、それは山武市が自主独立の市として、一旦、成立をしなければならぬ、基本をそうゆうふうに考えました。そのことからすると、今回取り組みますこの基本構想、行政改革は、たった一度、山武市の成立のためのたった一度、与えられた機会のように考えております。従いまして、今回に総合計画は山武市が山武市として存在できる、存在していくために使えるものと、こんなふうに考えて取り組んでまいりたいというふうに思っています。そういった大変大きな意味合いを含めて、今回に総合計画に取り組んでまいりますので、審議会の皆様方にも是非ともお忙しいとは存じますが真剣に取り組んでいただくことをお願い申し上げたいと思います。是非とも自主独立という言葉が本当に実現できる山武市を目指して総合計画ができあがりますよう、大いなるお力をいただくことを申し上げましてごあいさつとさせていただきます。</p> <p>4．議題</p> <p>(1) 会長・副会長の選出について</p> <p>学識経験者から会長に秋庭委員、副会長に行木委員の推薦あり。</p> <p>決定事項</p> <p>会長には秋庭委員、副会長には行木委員が選出された。</p>
清宮委員	
秋庭会長	<p>～あいさつ～</p> <p>ただ今、会長職を仰せつかりました秋庭でございます。</p>

<p>企画政策課 石田課長</p>	<p>微力ではございますが、誠心誠意努めさせていただく所存です。また、委員の皆様方におかれましてはご専門の立場から貴重なるご意見を賜りまして、誰もがしあわせを実感できる山武市の実現に向けた、実りある審議会にいたしたいと思いを。どうぞ、ご協力のほどよろしくお願いいいたします。</p> <p>(2) 山武市総合計画審議会運営要綱(案)について説明する。</p> <p>決定事項 原案のとおり決定した。 今回署名委員は、朝日委員及び岩澤委員が指名された。</p>
<p>企画政策課 越川副主査</p>	<p>(3) 山武市総合計画策定方針 (案) について (4) 山武市総合計画策定スケジュール (案) について一括説明をする。</p> <p>決定事項 原案のとおり決定した。</p> <p style="text-align: right;">閉会 0時10分</p>

会議の名称 第1回 山武市総合計画審議会

開催日 平成18年11月6日(月)

出欠席者名簿

委員氏名		出欠
会長	秋庭 武行	出欠
副会長	行木 信一	出欠
委員	清宮 央行	出欠
委員	加藤 忠勝	出欠
委員	鈴木 庸夫	出欠
委員	小水 達美	出欠
委員	朝日 典男	出欠
委員	岩澤 静	出欠
委員	唐木 美義	出欠
委員	布施 定一	出欠
委員	宮野 栄一	出欠
委員	並木 彌	出欠
委員	大角 進	出欠
委員	石橋 藤榮	出欠
委員	木内 秀雄	出欠
委員	浅野 祐一	出欠
委員	今関 紘	出欠
委員	佐瀬 孝一	出欠
委員	猪原 源治	出欠
委員	金田 弘之	出欠

出席 17名 ・ 欠席 3名

